



図書館通信

中高生版 2023年4月号 No.22

図書館ニュース

こどもの読書週間

イベント開催!

【期間】 4月15日(土)から5月14日(日)まで

【内容】

- 1.「スタンプあつめて「長与町オリジナルトレットペーパー」をもらおう！」(参加は中学生まで)
- 2.「ミックンにおしえて～しらべてはっけん!～」(親子・兄弟・友人仲間での参加もOK! 参加賞あるよ)
- 3.特集展示は「MOE 絵本屋さん大賞 2022」

「ミックンにおしえて～しらべてはっけん!～」は、ミックンが知りたがっていることに、本などで調べて教えてください。ちなみにミックンが知りたがっていることは

- ・長与町で一番住んでいる人が多いのは何郷?
- ・ドラキュラ城は、どこにあるの? ...などです。

問題・解答用紙は、図書館で配布または図書館ホームページから入手できます。

新着図書

<YA・小説>
『あした、弁当を作る。』
ひこ・田中／著
講談社

<一般・小説>
『朝星夜星』
朝井 まかて／著
PHP 研究所

<一般・エッセイ>
『ものがわかるということ』
養老 孟司／著
祥伝社

<一般・伝記>
『南極の食卓』
渡貫 淳子／著
家の光協会

<一般・裁縫>
『今、作りたいスマホショルダー』
ブティック社

<YA・小説>
『バスを降りたら』
眞島 めいり／著
PHP 研究所

<一般・エッセイ>
『好きになってしまいました。』
三浦 しをん／著
大和書房

<一般・エッセイ>
『帆立の詫び状 てんやわんや編』
新川 帆立／著
幻冬舎

<一般・医学>
『脳の闇』
中野 信子／著
新潮社

<一般・料理>
『レンチンで超簡単! 村上祥子さんの世界のおやつ』
村上 祥子／著 マキノ出版

図書館
カレンダー

この印が休みの日です

4月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

開館時間 10時～18時



本を入れる
バッグを
持ってきてね!

今月の特集コーナー

<児童書テーマ> 「ようこそ！ 童話の世界へ」

『長い長いお医者さんの話』

(カレル・チャペック／作 中野 好夫／訳 岩波書店)

作者のカレル・チャペックは、旧チェコスロバキアの出身で、戯曲を書いたり政治に参加したりした多才な人です。そのせいか、こっけいな童話の中に風刺が入っていたりします。それは、成長した今のみなさんだから気づくことかもしれませんね。幼い頃童話を読んだ人もそうでない人も、この機会に読んでみませんか。



<一般書テーマ> 「一年生、はじめよう」

新しいことを始めるときは、誰でも一年生♪ですわ。

『大人のゆかた入門』

(森 荷葉／著 講談社)

和文化ブームで、着物に興味を持つ人が増えています。そこで、気軽に始められる浴衣からチャレンジしてみませんか？この本には、男性の着付けも載っています。自分で着られるようになれば、おしゃれの幅が広がるかもしれませんね。

はっさくさんの本棚



<このコーナーの主>
ミックンのおじいちゃん
はっさくさん

長与町では小・中学生のみなさんに『長与町の子どもたちに読んでほしい200冊の本』として、本を推薦しておるんじゃ。

その中から、中学生向けの本を3冊を紹介するよ。



『キツネとねがいごと』(カトリーン・シェラー／作 松永 美穂／訳 西村書店)

永遠に続く魔法を手に入れたキツネ。これで幸せに過ごせるはず…でした。キツネの一生から、大切なものとはいったい何かを考えさせられます。

『ゲンバクとよばれた少年』(中村 由一／著 渡辺 考／聞き書き 宮尾 和孝／絵 講談社)

1945年8月9日、長崎に投下された原爆で大怪我を負った中村さん。その後、後遺症と差別という二重の苦しみを受けます。微笑みながら見せるシワシワの卒業証書が、そのことを物語っています。

『15歳のコーヒー屋さん』(岩野 響／著 KADOKAWA)

周りの人と同じようにできない自分を、情けなく思っていた響さん。しかしコーヒー豆の焙煎に打ち込むうちに「このままでもいいんだ」という気持ちが芽生え、これを仕事にしたいと思うようになりました。



新学期に読んでみたい本は見つかったかな？

「はっさくの本棚」で紹介された本は、長与町図書館で借りることができます。